



#### 4 塩瀬友禪に刺繍「嵐山渡月橋図」掛幅

1幅 明治20年(1887)頃

本紙119.0×121.0

円相の中、五分咲の桜樹の向こうに、嵐山界隈の春景を描くという、洒落た構図である。桜には刺繍が施され、友禪の表情とは異なる趣を示し、画面全体に奥行き感を与えている。技法的には西村總左衛門の制作と考えられるが、伝来と共に不詳である。







- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

美術染織の精華 ― 織・染・繡による明治の室内装飾

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 54

編集 宮内庁三の丸尚蔵館  
制作 株式会社 東京美術  
翻訳 横溝廣子  
発行 宮内庁  
平成二十三年三月二十九日発行

© 2011, The Museum of the Imperial Collections